



# ひので大地



今年は丑年です。先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。

（福嶋牧場にて 矢治委員撮影）

## おもな記事

- \* 新年の挨拶 … P2
- \* 感謝状の受賞について … P2
- \* 町内園児大根栽培体験事業 … P2
- \* 農地パトロールを実施しました … P3
- \* 農地中間管理事業の活用 … P3
- \* 認定農業者等認定証交付式が行われました … P3
- \* 東京都家畜保健衛生所視察 … P4
- \* 獣害対策について … P4
- \* 認定農業者紹介 … P4



## 新年の挨拶



農業委員会  
会長 神田 功

新年あけましておめでとございます。

町民の皆様には日頃より日出町農業行政及び農業委員会にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスによって、大きく生活が変わった一年でした。

農業全体を見てみると、学校給食や外食産業へ出荷している農業者は大きな打撃を受けました。

日の出町でも、産業まつりや観光&物産フェア、直売所の感謝祭や収穫祭も中止となりました。

しかしながら一方で、家庭での野菜の需要が高まり、直売所の売上は上昇傾向にあります。

農業委員会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意するために、当初計画してい

た事業を中止したり、実施方法を変えて実施してきました。

年が明けてからも収束が見えない状況です。感染者数も増加し、緊急事態宣言が出され、私たちの生活を取巻く環境は予断が許されない状況が続いております。

本年8月末に、今期の農業委員の任期が満了し、9月より新たな農業委員が開始します。

農産物が安定して供給できる環境を整えるため、引き続き、農地パトロールによる遊休農地等の発生防止や農地中間管理機構等の連携を通し、農地の貸し借りの推進を行い、農地の保全、利用の最適化を進めていきたいと思っております。

### 感謝状の受賞について

この度、令和2年度日の出町表彰式(式典は中止)において、現農業委員の松本哲男氏が、感謝状を受賞されました。これは、農業委員会が推進している食育体験活動で、長きにわたり用地提供に協力いただき目的達成に貢献した功績に対するものです。



### 町内園児大根栽培体験事業

昨年も町内の保育園児、幼稚園児を対象に食育の一環として、JAあきがわ日の出支店のご支援をいただき、大根栽培体験事業を実施しました。

今回は新型コロナウイルス禍の中、種まきを2日間に分けたり、収穫日は、時間帯をずらしたり「ソーシャルディスタンス」に配慮工夫をし、150名が参加しました。

子供たちが畑に来て農業にふれあい、普段自分たちが食べている大根が実際にどのようなように作られているのかを体験してもらいました。収穫した大根はそれぞれの園の給食に使われたり、保護者の方に配られたとのことでした。

後日参加した園児から大根栽培体験時の絵をたくさんいただきました。



**農地パトロールを実施しました**

7月7日、8日に町内の畑を対象に農地パトロールを実施しました。4班に分かれて、見回りを行いました。



今回のパトロールでは、37件の指摘を行い、地権者に対して口頭や文書等で指導を行いました。指導対象地では、雑草繁茂とともに、農地を無許可で農地以外のものに転用しているものも見受けられました。農地は限られた資源です。大切な農地を荒廃させたり、病害虫や有害鳥獣を発生させないよう、一年を通じ肥培管理にご留意ください。

**農地中間管理事業の活用**

日の出町において、農地中間管理機構による農地の貸し借りが行われました。

農地中間管理事業とは、東京都が指定する農地中間管理機構が、農地の貸手から畑を一旦借受け、その畑を農業者へと貸し出す制度です。公的な機関が間に入ることで、より安心して農地の貸し借りをを行うことが出来るようになりました。東京都では、東京都農業会議が農地中間管理機構に指定されています。



**令和2年度日の出町認定農業者等 認定証交付式が行われました**

令和2年10月に認定農業者等認定証交付式が行われ、坂元崇さん、門馬睦さん、門馬優子さんの3名が新たに認定農業者となりました。



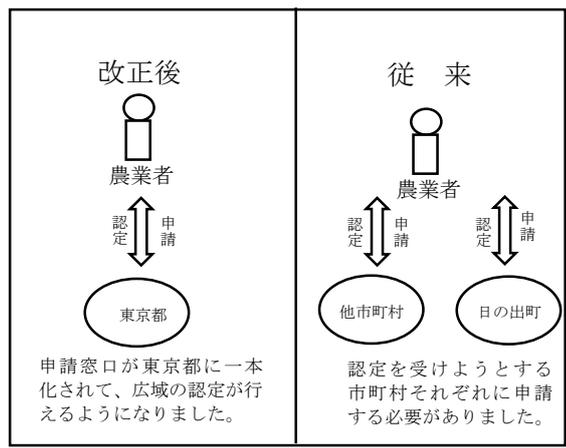
認定農業者とは、意欲的に農業に取り組み、今後5年先の経営改善計画を策定し、その計画を町または都が認定した農業者のことを言い、地域農業の担い手として活躍されています。

左から、坂元氏、辻本職務代理、橋本町長、神田会長、門馬夫妻

**認定農業者の広域認定が始まりました**

令和2年4月より、認定農業者の広域認定が始まりました。今まで複数の市町村をまたいで認定農業者になるためには、それぞれの市町村で認定を受ける必要性がりましたが、複数市町村にかけて農業経営を行っている農業者については、東京都で一括して認定を行うことが出来るようになりました。

令和2年4月より、認定農業者の広域認定が始まりました。今まで複数の市町村をまたいで認定農業者になるためには、それぞれの市町村で認定を受ける必要性がりましたが、複数市町村にかけて農業経営を行っている農業者については、東京都で一括して認定を行うことが出来るようになりました。



申請窓口が東京都に一本化されて、広域の認定が行えるようになりました。

認定を受けようとする市町村それぞれに申請する必要がありました。



認定農業者ロゴマーク  
いきいきファーマー

## 東京都家畜保健衛生所の視察を行いました

令和2年11月25日に農業委員会主催で、地元畜産農家とともに東京都家畜保健衛生所の視察を行いました。

同施設は、都の農畜産業の健全な発展を支えるために設置された機関で令和2年4月に立川市から日の出町に移転しました。

畜産経営に大きな被害を与える高原性鳥インフルエンザや豚熱、BSEなどの家畜伝染病の発生予防、まん延防止、病性鑑定による診断等を業務としており、これらを通して、都の畜産経営の安定と都民の食生活の安全を守っています。



## 獣害対策について

例年、春先にかけてイノシシによるタケノコ等の獣害被害が発生しております。早い段階での獣害対策を行うことで農作物を守ることが出来ます。有害鳥獣害には電気柵が有効です。

町では、電気柵の貸出事業を行っております。問い合わせは農林振興係まで。042(588)4102



電気柵が設置されている様子

## 2020年農林業センサス東京都版の速報が発表されました。

2020年農林業センサスの速報値が公表されました。詳細は農林水産省のHPで閲覧できます。同調査は、5年ごとに農林業を営んでいるすべての農家、林家、法人を対象として行われ、農林業の実態を総合的に把握するために行われています。

## 認定農業者紹介

あおき つよし  
青木 毅 さん

あおき たかし  
青木 崇 さん

野菜苗（サツマイモ等）の生産や、ブルーベリーの摘み取り園の経営をされています。



左、青木 毅 さん。右、青木 崇さん。

ブルーベリー摘み取り園は、毎年7月頃から9月頃まで平井の圃場で開園しています。

## 日の出特産品



詳しくは、青木農園HPへ（左、QRコード）

## 直通電話が導入されました

令和2年11月24日より町民の皆様の利便性向上のため、直通電話が導入されました。

農業委員会に関する事、農政、農地に関する事は、042(588)4102

農業委員会への申請の締切は、毎月15日（土日祝日の場合には、その前日まで）となります。

## 編集後記

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、社会・経済の構造や生活様式などが一変してしまつた一年でした。そんな中、日の出町では地場産の野菜への需要が高まり、直売所の売り上げも上昇しました。年が明けても、新型コロナウイルス感染症は終息する気配を見せるどころかますます拡大しています。地域に根ざした農畜産業の振興は、こうした新しい社会・経済・生活様式の中で、今後さらに必要かつ重要な要素の一つとして、注目されていくのではないでしようか。

## 編集委員

矢治 一俊 宮岡 進  
松本 哲男 青木 崇

## お問合せ

農業委員会事務局

Tel 042(588)4102